



野鳥さが

発行者：宮原明幸 編集者：馬場順一 イラスト：中村さやか

日本野鳥の会佐賀県支部



鋭い目つきとくちばしのイヌワシ (岐阜県・伊吹山にて 撮影:橋本泰博さん)

野鳥さが219号 主な内容

- 役員会報告-----2ページ
- 2018年九州・沖縄ブロック in 長崎 参加報告-----3ページ
- 2018 さが環境フェスティバル in 森林公園のご案内 -----5ページ
- 第51回 佐賀県環境影響評価審査会のご報告 -----6ページ
- 支部からのお知らせ-----8ページ
- 各地の観察会報告-----9ページ
- 皆さんからのおたより-----14ページ
- 最近の新聞・情報誌の記事から-----14&21ページ
- 近隣地区の観察会情報-----22ページ
- 観察会会場までの案内-----23ページ
- 観察会などのお知らせ(2018年10月~11月) -----24ページ



役員会報告

(報告:青柳良子)

【日 時】2018年8月26日

【出席者】宮原明幸、中原正義、川原直嗣、田中丸雅雄、加藤芳隆、江口富美子、
中島由美子、山崎章弘、馬場清、蒲原留美、山中美由起、青柳良子

【主な話し合い項目】 (既に終了した案件については割愛したものがああります)

(1) 25周年記念事業について

- ・日程：2019年4月20日(土)～21日(日)
 - ・会場：ガーデンテラス佐賀(旧マリトピア)・・・佐賀市新栄東
 - ・主な内容
20日(土) 安西英明氏(日本野鳥の会主席研究員)の講演・懇親会
21日(日) 東よか干潟野鳥観察会(8:00～10:00)
- ※詳細については 後日お知らせします。

(2) 伊万里国見山の風力発電計画に対する意見書について

佐賀県支部として、意見書を提出することとする。
「意見書」は山崎章弘さんが書いて提出することになった。

(3) 環境フェスタについて

10月13日(土)～14日(日) 環境フェスタ in 森林公園に参加。
詳しくは5ページをご覧ください。

(4) その他

- ① 「オスプレイ」の問題が具体的に報じられてきたので、野鳥の会としては「ラムサール条約でまもられている東よか干潟の上は絶対に飛ばないように」と申し入れをする。
- ② 「佐賀県支部のホームページを新たにたちあげた。反応はとてもいいようだ。干潟の情報はどんどん寄せてほしい。
- ③ 傷病鳥に関する情報も支部長のところによくあるので、対策を検討しなければならないと思う。
- ④ 風力発電に関する「意見書」は「ツルの会」でも出した方がいい。
- ⑤ 鳥に関する日本最大級のイベント「ジャパン・バード・フェスティバル(JBF)」が11/3(土)～4日(日)に千葉県我孫子市の手賀沼周辺で開催される。関心のある方はぜひご参加を！

WEB サイト <http://www.birdfesta.net/>





「2018年九州・沖縄ブロック大会 in 長崎」に参加しました

(報告：馬場 清)

本年度の九州・沖縄ブロック大会は9月15日～16日に長崎県支部により佐世保市の「長崎県立青少年の天地」で開催されました。佐賀県支部からも7名の方が参加しました。

一日目 13時より執行長崎県支部事務局長の開会宣言で始まり、九・沖ブロックの代表、開催支部代表、来賓佐世保市長等のあいさつがありました。

*記念講演① 栗林 慧(くりばやし さとし)：生物生態写真家
「生態写真撮影のおもしろさ」

講演内容は幼少の時から生きものに興味があり、特に昆虫が好きでいつもガキ仲間と夕方遅くまで山野を駆け巡った。学生時代もその趣味は続き、社会人になり写真機材に満足するものがなく、自分で製作に挑戦し、趣味が高じて何とやら・・・のことわざを実現した。当時は世界的にも無く、試行錯誤して内視鏡的な現在の“くりばやしブランド”を世に出した。皆様も昆虫の顔面の“どアップ”な写真を一度はお目に係られた事があるでしょう？

野鳥の会の柳生会長は親友であり、会長は野鳥向けの機器を造ってほしい旨 エールを贈られていた。面白い講演でした。

*記念講演② 柳生 博(やぎゅう ひろし)：日本野鳥の会会長
「ハケ岳の自然」

何回か柳生会長の話を拝聴しておりますが、今回は家族の事を少し皆さんに話しておきたいと言われ、ご子息のこと、奥様のこと、から始まり、ご自分の商船大卒～俳優～現在までの生き様を告白された。

ハケ岳の山中に開設されている「ハケ岳倶楽部」が30年ほど経過したこと、雑木林の木々を何万本も植え、大きく生育させ、大森林を造ったこと。

「当倶楽部」にはいろいろな施設があり、何万人の方が自然体験を経験されたことか、(佐賀県支部にも数名おられます)

日本野鳥の会の内輪の話、栗林とのお付き合いなど切実な内容で飽きの来ない話でした。

大会行事

- ・長崎県支部のアカハラダカの渡りに関する調査報告、他の猛禽類の報告、支部活動報告
- ・2～3支部の活動報告
- ・近隣地の風力発電建設予定について 意見交換で一日目終了



夕食後、懇親会&オークションです。懇親会は缶の飲み物と“かわき物”でした。当支部よりも清酒や支部在庫品(売れなかった)を出してもらいました。酒宴は0時頃まで楽しんでおられていた。



二日目 アカハラダカの観察会

6時起床、部屋の清掃、寝具の整理後、観察会場へ移動、直ちに観察体勢で待つが2～30分間は霧を覗いていた。朝食弁当を食べながら霧の晴れるのをただ待つのみ。

対馬からの飛来情報では少ないが“百数十羽が西方向へ飛去した”とのこと、バーダー達はざわめいていた。羽数は少ないが断続に数羽ずつの飛来が遠くにあり、合計百羽以上を観察した所で昼食弁当が来た。

また、対馬情報です。約9千羽飛去したとのこと。烏帽子岳の観察会場には2～30本カメラ、プロミナ、3～40人以上の双眼鏡の人々は期待してスタンバイです。

佐賀県支部の者は夕方のツバメのねぐら入り観察会の関係で、約9千羽の数字に後ろ髪を引かれながら帰途につきました。

【佐賀県支部参加者】宮原明幸、田中丸雅雄、山崎章弘、青柳良子、田辺憲子、蒲原留美、馬場清、安井淳一郎（現地参加）

（写真提供：馬場清さん）



有明海の満潮時刻 (六角川観測塔)



※潮高 5～6m前後、午前 8 時頃からお昼頃に満潮を迎える日時を掲載しています。

	時刻	潮高 (m)		時刻	潮高 (m)
10月8日	8:27	5.7	11月6日	8:08	5.5
10月9日	9:12	5.9	11月7日	8:53	5.6
10月10日	9:53	5.9	11月8日	9:34	5.6
10月11日	10:30	5.8	11月9日	10:11	5.6
10月12日	11:04	5.6	11月10日	10:45	5.4
10月13日	11:34	5.2	11月11日	11:16	5.2
10月23日	8:11	5.4	11月12日	11:45	4.9
10月24日	8:51	5.6	11月22日	8:28	5.4
10月25日	9:31	5.7	11月23日	9:13	5.6
10月26日	10:10	5.7	11月24日	9:58	5.6
10月27日	10:49	5.6	11月25日	10:41	5.6
10月28日	11:26	5.4	11月26日	11:23	5.5

※支部ホームページに詳しい潮汐表が掲載されています。8ページをご覧ください。

満潮時刻と潮高をたしかめてから行こう！

■ 東よか海岸

潮高 5.0m 満潮の2時間前くらいがベスト！

■ 鹿島新籠海岸他

潮高 4.0m 満潮の1時間前後がベスト！

満潮時には、残された干潟に鳥が集まり、近くで見やすい状態になります。ただし、小潮だと遠すぎるし、大潮になると干潟が水没してしまっ、鳥が移動してしまいます。)





「2018 さが環境フェスティバル in 森林公園」のご案内

日本野鳥の会佐賀県支部 5 回目の出展！

「さが環境コラボ事務局 特定非営利活動法人 温暖化防止ネット」の呼びかけです。
「野鳥たちが安心して棲める環境を！」という願いを多くの方に伝えられるといいな！という想いで今年も出展します。お知り合いの方など誘っていらしてください。

【日 時】 10月13日(土)・14日(日) 10:00～16:00

【場 所】 県立森林公園(佐賀市久保田町)

【展示内容】

- ・佐賀県内で観られる野鳥の写真展示
- ・佐賀県鳥「カササギ」の巣・写真の展示 とバッジ販売
- ・アオバズクの剥製 ツバメの巣と卵の展示

【体験コーナー】

- ・「庭に野鳥を！」・牛乳パックを使っての「エサ台づくり」
- ・野鳥の「ぬりえ」

【入会促進のための取り組み】

- ・1年間会費無料の「お試し会員」のお誘い

【その他】

- ・野鳥関連グッズの販売
- ・来場者へのプレゼント(野鳥の写真ハガキ・財団本部からのプレゼント品)

などを考えています。

そこで 会員の皆様にはお願いです。

次の7つの時間帯でお手伝いいただける方がいらっしゃいましたら、

青柳良子(090-1659-7353) まで ご連絡ください。

ブース当番は、来場者数のカウント、ぬりえやエサ台作りの補助、写真の説明、プレゼント渡し・・・などの仕事があります。(各時間帯とも5～6名)

人手がたくさん欲しいのでよろしくお願いいたします。

12日(金) 前日準備 (パネルは馬場清さんが塩田公民館から借りて下さいます。)

- ① 10:30～ 塩田公民館からパネル・机を運ぶ。
- ② 13:00～ 江口さん宅からカササギの巣を運ぶ。
- ③ 13:30～ 森林公園でのブース準備。

13日(土) ブース当番 ④ 9:30～12:30 ⑤ 12:30～16:00

14日(日) ブース当番 ⑥ 9:30～12:30 ⑦ 12:30～16:00

※終了後搬出作業(塩田公民館・江口さん宅へ)

お一人でいくつの時間帯を申し出られても結構です。

お手伝いいただいた方には昼食代として500円お渡しします。(車提供の方はガソリン代)ご連絡いただいた方に集合場所や駐車場などをお知らせします。





第51回 佐賀県環境影響評価審査会のご報告

(事務局：中村さやか)

8/23に佐賀県庁にて第51回佐賀県環境影響評価審査会が開催され、「(仮称)伊万里市における風力発電事業に係る計画段階環境配慮書」について事業者より内容の説明と質疑応答がありました。委員からもっと厳しい意見が出ると思いきや、うるさく言うのは私だけだったのでちょっと残念でした。

(事前質問として質問を提出したのも私だけです。)

ただ、この計画、風車が建てられる場所より、風車を立てるための資材を運ぶ長崎県側の搬入道路の方に貴重な自然が多く、狭い道をどうしても拡張しないといけないので、どうもここでつまづくみたいです。長崎県側からの反発の意見も多く出ているということでした。また佐賀と同じように、長崎でもアセスの審査会が今後開かれるとのことでした。

今後も長崎県側の動きも注意しつつ、情報収集したいと思います。

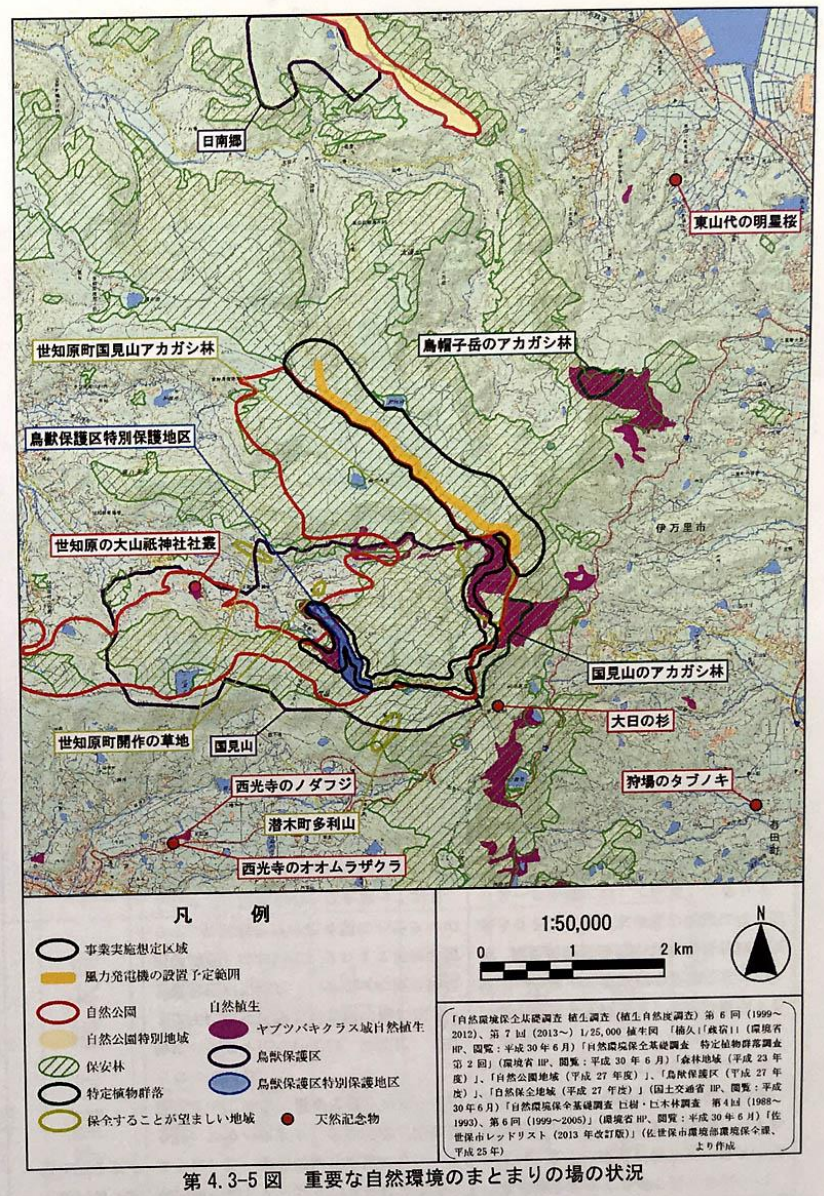
また、事前質問への事業者の回答を添付しておきます。

これは、配慮書についての意見ということで、そのまま意見として提出しました。

そして、話はちょっと変わりますが、やっとメガソーラーに法アセスが適応されることになりそうです。

今までは、メガソーラーは環境アセスメントの対象となっていなかったため、貴重な自然を壊して作られることも多く、早期の法アセス適用が求められていました。今後は簡単に作れなくなります。

私たちも積極的に意見を届けていきましょう。



第4.3-5図 重要な自然環境のまよりの場の状況



「(仮称)伊万里市における風力発電事業計画段階環境配慮書」
に関する事前質問及び事業者の見解

ページ・行等	内 容	事業者の見解
要約書 14P 第 2.2-7 図(2)	事業実施想定区域(案)は、保安林(水源涵養保安林)であり、これを事業のために改変することは、事業実施想定区域としてはふさわしくないとと思われるが、それについてはどう考えるのか。	本計画地の保安林は、佐賀県及び長崎県の森林管理署が管轄する国有林野内となります。保安林内の開発許可及び国有林野の貸付けについては、今後両管理署と利活用協議を行って参ります。 本事業の実施に伴い、環境影響評価手続きや今後の各種調査、管理署との利活用協議において、可能な限り改変量を最小化する等の対策を検討し、それらを事業計画に反映させることで、保安林の機能を阻害することのないよう、環境面に配慮した事業計画を検討して参ります。
要約書 22P 第 2.2-11 図	輸送ルートとして設定されている道は、国見山鳥獣保護区、佐世保市の鳥獣保護特別保護地域、保安林、北松県立自然公園、ヤブツバキクラス域自然植生、世知原町国見山アカガシ林、など非常に多くの重要な自然環境が存在している。機材搬入の道路拡張のため、この貴重な自然のある道筋を改変する可能性が高いと思われるが、どうするのか。	配慮書時点で搬入可能性の検討を行っており、最も確度が高いルートとして伊万里港から一般国道 204 号、498 号を通り長崎県側から回り込むルートを示しております。 ご指摘のとおり、当該ルートには多くの重要な自然環境が存在しております。各地域での拡幅工事の実施可否については今後予定している関係機関との協議次第であるところもございますが、搬入ルートについては確定したのではなく、風力発電施設のサイズや搬入方法を検討することによるその他の搬入ルートの可能性も含め、今後も引き続き検討して参ります。

要約書 34P 第 4.3-2 表 2	<p>専門家へのヒアリングの意見にもあるように、この事業実施想定区域は、ハチクマ、アカハラダカ、サシバなどの猛禽類にとって非常に重要な渡りのルートとなっている。</p> <p>特にハチクマについては、実際に、2012年に東京大学名誉教授の樋口広芳名誉教授が行った「ハチクマの渡り衛星追跡調査」において、2012年秋の渡りで、発信器を付けた4羽のハチクマのうち3羽が国見山の上空を渡っており、科学的にも事業実施想定区域がハチクマの渡りのルート上に当たっていることが証明されている。</p> <p>またハチクマ以外にも猛禽類は渡りをするときは、山麓の上昇気流を使い山の稜線を低く飛びながら移動する。そして、渡りをする小鳥類もあまり高度を上げず移動することが多い。そのため、この事業計画により、猛禽類または小鳥類のバードストライクが頻回に起こるであろうと言わざるを得ない。</p> <p>また、この近辺のタカの渡りのルートは全国的に広く知られており、秋の渡りのシーズンには全国から多くの観察者が訪れる有名な観光地ともなっており、エコツーリズムの資源としても非常に重要である。</p> <p>以上のことから、風力発電事業実施想定区域として避けるべき場所であることは明々白々であるが、どのように考えているのか。</p>	<p>本地域を飛来する渡り鳥の状況については、まずは環境影響評価手続きの現地調査において、渡り鳥の飛翔ルートや高度等の情報の収集による実態の把握に努めることが肝要であると考えております。</p> <p>調査結果等を踏まえ、飛翔が集中する範囲への風力発電施設の設置を避ける等、環境影響評価の内容を事業計画へ反映させることで、本事業の実施に伴う渡り鳥への影響に対して配慮して参ります。</p>
配慮書 293P 第 4.3-5 図	事業実施想定区域の中に保安林の記載(緑色斜線)が掲載されていないのはどうしてか。	ご指摘の図面については誤記となります。申し訳ございません。 保安林の指定状況を修正した図面は別添資料①のとおりです。





支部からのお知らせ



◆ ようこそ 佐賀県支部へ！・・・支部入会者情報

前号（217号）でお知らせした以降の入会者を「大歓迎！」の気持ちを込めてご紹介いたします。

10月入会 野口 博さん（佐賀市西田代）

坂田 修治さん（佐賀市大財）

以上2名の方の9月中旬現在でのご入会が確認されました。

佐賀県支部の会員は現在218名です。

野鳥の会会員の皆様！

皆様の周りに、花や昆虫など自然の生き物に興味・関心をお持ちの方はいらっしゃいませんか？ 観察会などにお誘いしてみてください。

野鳥の会は「いつでも入会OK」です。

日本野鳥の会とは

「野鳥も人も地球のなかま」を合言葉に、野鳥や自然の素晴らしさを伝えながら、自然と人間とが共存する豊かな社会の実現を目指し、活動を続けている自然保護団体です。

◆ 支部ホームページを開設しました

支部待望の公式ホームページを開設しました。支部紹介、探鳥会の案内、干潟情報、有明海の野鳥紹介など、盛りだくさんの内容です。特に東よか干潟の情報は日々更新されていて、必見です。

ホームページのアドレスは、

<https://www.yacho-saga.org/>

です。 事務局長・中村さやかさんの「日本野鳥の会佐賀県支部ブログ」と合わせて、支部の情報を発信していきます。

会員専用のページを見るにはパスワードが必要です。 支部長の宮原明幸さんまでEメールでお問い合わせください。

メールアドレスは、

ruriruri115@b1.bunbun.ne.jp

です。

(トップページの画像 →)



物資販売係からのお知らせ

*2019年カレンダーの注文販売をいたします！

個人で購入されるより送料負担が軽くなります。(1回の送料 760円)
支部からのまとめ注文で送料負担を軽くしませんか？

*ご希望の方は、10月31日(水)までに商品名と、注文数をご連絡願います。

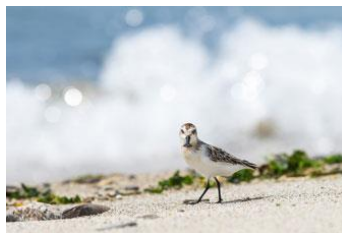


ワイルドバード・カレンダー2019

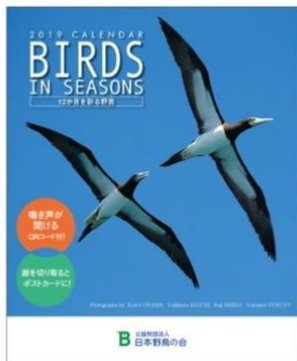
販売価格 **1,300円**(税込)

・各月の野鳥

1月 オオハクチョウ、2月 アトリ、3月 ホオジロ
4月 コチョウゲンボウ、5月 オオヨシキリ、6月 コヨシキリ
7月 ホオアカ、8月 チュウサギ、9月 ヘラシギ
10月 オシドリ、11月 ルリビタキ、12月 エゾライチョウ



9月ヘラシギ



バーズ・イン・シーズンズ 2019 卓上カレンダー

「12か月を彩る野鳥」 販売価格 1,080円(税込)

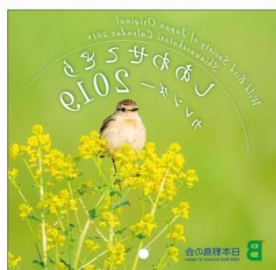
*写真はポストカードに再利用できます。

・各月の野鳥

1月 エナガ、2月 イスカ、3月 アトリ
4月 オグロシギ、5月 アカモズ、6月 セイタカシギ
7月 ホシガラス、8月 カツオドリ、9月 ノビタキ
10月 チュウサギ、11月 ヤマガラ、12月 キレンジャク



1月エナガ

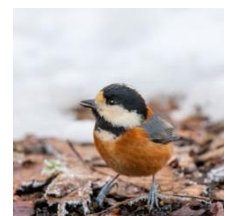


しあわせことりカレンダー2019 販売価格 **1,080円**(税込)

*壁掛けタイプ

・各月の野鳥

1月 コガラ、2月 ヤマガラ、3月 ヒバリ
4月 キビタキ、5月 ノビタキ、6月 ミソサザイ
7月 コルリ、8月 コアジサシ、9月 トウネン
10月 ツリガラス、11月 シロチドリ、12月 カシラダカ



2月ヤマガラ

***譲渡** 野鳥を庭に (えさ台・水場のやさしい作り方) VHSビデオ
ビデオテープです。ビデオテープを観る環境がまだおありの方に
差し上げます！



物資販売担当連絡先

蒲原 留美 TEL 090-5294-3103 Eメール kamoharu@po.hagakure.ne.jp



各地の観察会報告

■雲仙・あざみ谷観察会報告（長崎県雲仙市）

【日 時】 平成30年7月22日

【参加者】宮原明幸、加藤芳隆、丹羽昭一、水田稔、中島由美子、八木ひとみ、大川幸子、新田直哉、橋本泰博（案内役）

【観察された野鳥】ウグイス、オオルリ、キビタキ、クロツグミ、コゲラ（声）、シジュウカラ、センダイムシクイ、ソウシチョウ、ヒヨドリ、ホオジロ、ミソサザイ、メジロ、ヤブサメ、ヤマガラ、ホトトギス（声）



（写真提供：橋本泰博さん）

【案内役より】

鳥をじっくりと見られるのがあざみ谷の良いところです。例えばウグイスにしても、ほとんどの人は見たことがあるだろうけれど、しっかり観察できるほど長い間見た人は意外と少ないと思います。その水浴びの姿となると、ほとんどの人は見たことがないのではないのでしょうか。鳥の姿をじっくり観察できて、めったに見られない水浴びまで見られるのが、ここあざみ谷なのです。それに、歩いて探し回らなくても鳥の方からやって来てくれることと、天然のクーラーの中で楽しく観察できる事も、あざみ谷のすごいところです。

【参加者の声】

《宮原さん》橋本さん、企画案内の「雲仙あざみ谷」県外探鳥会に参加致しました。

下界は酷暑の毎日ですが、妙見岳は別世界、涼しいを通り越して肌寒いほどの気温です。水場へは、ソウシチョウ・ウグイス・キビタキ・クロツグミ・ヤブサメ等、次々に水浴びに訪れ楽しませてくれます♪

設置の野鳥案内の看板に、繁殖している鳥センダイムシクイが載っています。

「いい加減な案内」と話している最中、出ましたセンダイムシクイ（！）

意外でした。いずれ市民権を得るのでしょうか（？）ソウシチョウの増えていること、うじゃうじゃです。なかなか面白い探鳥会でした、来年も是非参加させてください。

《中島さん》じっと座っていれば、むこうからいろんな鳥が来てくれる、そんな楽しいあざみ谷観察会に今年も参加させていただきました。下界では38度、40度と騒いでいるのに、じっとしていると寒いくらいで、駐車場でさえも23度という涼しさでした。私の今年の目玉はヤブサメとミソサザイでした。どちらも小さく



てとてもかわいく、ヤブサメのシシシと鳴く声が増え加齢できこえなくなってきたからは、あまりお目にかかれなかったのが、久しぶりにその姿がよくよく見られて、おまけにミソサザイのチャッチャという地鳴きまで聞けてとてもうれしかったです。来年もヨタヨタとついて行けるよう、足と体を鍛えておこうと楽しみにしていますので、よろしくお祈りします。どうも有り難うございました。

■室内学習会報告

【日 時】 平成 30 年 8 月 18 日

【会場】佐賀市「水ものがたり館」

【参加者】青柳隆、青柳良子、大川幸子、蒲原留美、高木宏子、高木義彦、高山昭彦、高山英一、徳淵義実、長岡保、橋本泰博、服部二郎、久富文江、秀島泉、秀島サカ枝、古川昌高、古澤進、益田ミドリ、水田稔、宮原明幸、宮原史枝、八木ひとみ

【担当者の談】

恒例の夏の学習会、今回はコスタリカへ探鳥旅行に行かれた青柳さんの写された鳥、橋本さんが台湾探鳥行の際に写された鳥のスライド観賞会と、橋本さんの撮り貯めた中で同定出来なかった画像を皆で検証しました。

観賞会では、南国の鳥達の艶やかな色形と撮影者の話しに皆さん釘付けです。

わからない鳥の同定は、文殊の知恵！ 全部は同定出来ませんがワイワイと楽しい時間を過ごせました。

■東よか干潟（大授搦）観察会報告（佐賀市）

①【日 時】 平成 30 年 8 月 26 日

【参加者】川原直嗣、中島修、中島由美子、原秀親、高山昭彦、中原正義、河口秀博、水田稔、友田周一、青柳良子、田崎義昭、山田茂、長岡保、吉澤進、宮崎明美、久富文江、永島博、江口富美子、朝田清子、山中美由起、大川幸子、新田直哉、加藤芳隆、田中丸雅雄（案内役）

【観察された野鳥】アオサギ、ダイサギ、シロチドリ、メダイチドリ、オオメダイチドリ、ダイゼン、キョウジョシギ、トウネン、ウズラシギ、ハマシギ、サルハマシギ、コオバシギ、オバシギ、キリアイ、オオハシシギ、シベリアオオハシシギ、アカアシシギ、コアオアシシギ、アオアシシギ、キアシシギ、ソリハシシギ、オグロシギ、オオソリハシシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、チュウシャクシギ、トビ、ハヤブサ、ハシボソガラス、スズメ



(写真提供：加藤芳隆さん) シベリアオオハシシギ（左の鳥）



【案内役より】

朝から残暑が厳しい。本日のテーマは8月11日から滞在中の「シベリアオオハシシギを見よう」シチメンソウヤードに下りると、早速シベリアオオハシシギを見つける。秋に多い幼鳥です。秋の渡りもピークを迎え、シギ・チドリの種類も24種観察された。羽根の模様も夏羽から冬羽へ移行中のもの、今年生まれの幼鳥と様々です。暑い中での観察会でしたが、無事の終わりました、

②【日 時】 平成30年9月9日

【参加者】川原直嗣、徳淵義実、島田洋、中村さやか、吉澤進、原秀親、青柳隆、青柳良子、宮原明幸、水田稔、住田、古賀郁香、橋本泰博、江口勝高、永島博、福田康典、江口富美子、加藤芳隆、田中丸雅雄（案内役）

【観察された野鳥】シマアジ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、シロチドリ、メダイチドリ、オオメダイチドリ、ダイゼン、キョウジョシギ、トウネン、ヨーロッパトウネン、ウズラシギ、ハマシギ、コオバシギ、オバシギ、キリアイ、オオハシシギ、アカアシシギ、コアオアシシギ、アオアシシギ、カラフトアオアシシギ、キアシシギ、ソリハシシギ、オグロシギ、オオソリハシシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、チュウシャクシギ、ミサゴ、トビ、ハヤブサ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ヒバリ、ツバメ、ハクセキレイ

【案内役より】

朝から雨、降雨確率80%の予報ですが、参加者は19名となる。

堤防の上には県外ナンバーの車、レンタカーが数十台並ぶ。今回は青森県弘前市の方が飛び入りで参加する。

開始時は大潮の満潮時で干潟は水没し、鳥たちはシチメンソウヤード、捨石、柵上に避難中です。しばらくすると潮も引き始め干潟が現われ、鳥たちも戻り始める。シギ・チドリの群れの中にシマアジを見つける。今秋初のカモ類の飛来です。

8月29日から滞在中のカラフトアオアシシギは一部の人のみが観察されました。小雨が降る中、何とか終了する。

■ツバメのねぐら入り観察会報告（佐賀市）

①【日 時】 平成30年8月26日

【参加者】宮原明幸、青柳隆、青柳良子、馬場清、田辺憲子、山下哲郎、水田稔、斉藤真貴子、斎藤滋、松尾浩二、松尾香津美、朝田清子、江原幸代、高崎洋三、高崎由美、蒲原留美、是沢利則、是沢安希子、江口富美子、久富文江、原稔、原史絵、藤田なお子、梶野智恵子、木村こすえ、高木義彦、高木宏子、松本桂子、松本伊織、永島博（案内役）

【案内役より】

県内をはじめ、長崎や佐世保、飯塚と遠路はるばるありがとうございました。

30名の参加です。夕方6時過ぎに現地へ入ります。ツバメの姿はまったくありません。あたりをみまわしてみます。南側の堤防の裏側にサギ山を発見。

白いサギが字のごとく山のようにいます。遠い為、種類はわかりません。

ダイサギ、アオサギ・ゴイサギ（幼鳥）はちらほら見かけます。そうこうしているうちに、飯塚からお越しの松尾さんが電柱で休んでいるハヤブサを発見しました。やはりいましたね。しばらくすると、近くを横切っていきました。

やがて陽は沈み7時を回りました。少しずつツバメが集まりだしました。

はやる気持ちを抑えて待ちます。気が付けば西の空にたくさんのツバメ、また頭上をツバメたちが横切ります。堤防の上もたくさん横切っていきます。後ろから凄い勢いで脇を通り過ぎます。そして芦原の上はツバメだらけになってます。

やがてツバメの声だけに。そして、静寂が訪れました。

（番外編）ツバメがねぐらに入る頃、空には4つの惑星が輝いていました。

川の上にひときわ明るい一番星、金星です。

スコープで覗いてみると三日月のような形です。

金星の左には木星、これもスコープで覗くとガリレオ衛星が見えます。それからさらに左、赤く明るい星、火星です。7月に地球に大接近しました。

火星から30°右上には土星です。帰り際には流れ星を見たという方もおられました。

解散する頃、天頂から夏の大三角が私たちを見守っているかのように輝いていました。



（写真提供：永島博さん）

②【日 時】 平成30年9月16日

【参加者】友岡周一、蒲原留美、東琢一郎、東和代、青柳隆、青柳良子、久野妙子、久富文江、宮原明幸、水田稔、川上武彦、津田愛子、中島由美子、中島修、吉田寛史、吉田悠樹、山中美由起、河口秀博、東島清司、江口富美子、福井慧、福井智香子、あくね?まゆみ、永島博（案内役）

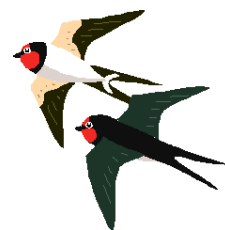
【案内役より】

今回も、福岡市、嘉穂郡、飯塚市、佐世保市と遠方よりご参加ありがとうございました。23名の参加です。日没は18時25分、大分早くなってきました。

相変わらずまだツバメは来ていません。川の淵にはアオアシシギ、ソリハシシギ、ダイサギ、アオサギがいます。芦原からはスズメの鳴き声がしてきます。

そうこうしているうちに、ちらほらとツバメがやってきます。やがて目の前を大群が行ったり来たり、頭上を横切ったり、後方からも勢いよく飛び込んで来ます。そして芦原の上を回るように集団で飛んでいきます。やがて声だけが響き終焉です。この日も天気がよく、ねぐら入りの後は星空観察会へと移行しました。

4つの惑星（これもそろそろ見納めです）、さそり座のアンタレス、夏の大三角、白鳥座も確認できました。虫の声も哀愁を誘います。心地よい秋風に包まれたいい観察会となったのではないのでしょうか。



■鏡山ハチクマの渡り観察会報告（唐津市）

【日 時】 平成 30 年 7 月 22 日

【参加者】青柳隆、青柳良子、朝田清子、上野徹、江口富子、岡崎章、川口秀博、川原直嗣、坂田幸夫、島田洋、菅原隆、高山昭彦、田辺憲子、長岡保、中島修、中島由美子、中原正義、橋本泰博、馬場清、久富文江、福田康典、水田稔、山崎章弘、山下哲郎、宮原明幸、（案内役）

【観察された野鳥】キジバト、ハチクマ、トビ、コゲラ、チゴハヤブサ、ヤマガラ、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリ、メジロ、エソビタキ、コサメビタキ、オオルリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス

【案内役より】

一日曇り空、帰る頃にはポツリポツリ、生憎の天気でしたが50羽程のハチクマが通過して行きました。8時台に一波、11時台に一波でした。今日はハチクマ、遠くて遠くて豆粒でした。

●最近の新聞・情報誌の記事から（その1）

探鳥日記 中村 さやか

やっと朝晩涼しくなり、秋の気配が感じられるようになりました。干潟には渡りをするシギ・チドリたちの仲間がたくさんやってきています。あと1カ月もすると、カモも見られるようになることでしょう。

家の周りでも夏の間は見られなかった鳥たちがやってきました。毎年、9月に入り少し涼しくなると一番初めにやってくるのはオレンジ色のお腹がきれいなヤマガラです。一年中このあたりに住んでいるのですが秋になると山から里に降りてきます。

他にもメジロやシジュウカラなど子育てがひと段落した鳥たちがそのかわいい姿を見せてくれます。

（日本野鳥の会佐賀県支部事務局長・中村さやか）

AUTUMN HAS COME

ヤマガラが里に秋の気配

キウイタダキ
Gold crest

シジュウカラ
Japanese Tit

エトガ
Long-tailed Tit

メジロ
Japanese white-eye

ママガラ
Varied Tit

（18/9/14 付け：佐賀新聞）
事務局・中村さやかさんが連載中の「探鳥日記」
（月1回、最終金曜日）





皆さんからのおたより



●「この時期の鳥たち 2018 その3」・・・山澤 健一さん（茨城県神栖市）

この5月から7月にかけて野鳥の会・茨城県の繁殖分布調査があり、県支部が設定したルートと別個の任意の箇所の調査を主体に、利根川の茨城県側の左岸を中心に調査しました。 昨年はこの時期ホトトギスに振り回されて時間がありませんでしたが、今年は5月の中旬にホトトギスを観察でき、時間に余裕ができ割と充実していました。 前号のその2に書きましたように、タマシギとヒクイナは稲刈り前に観察することができました。 タマシギは千葉県香取市で番と産毛の残っている幼鳥を、ヒクイナは地元で道路を横切る個体、またその近くで飛んでいる個体、9月には香取市で成鳥を観察しました。 あと、スポット的に7/18に車を運転中にフロントガラス越しにコグンカンドリを至近距離から見て、これ以降オオグンカンドリなどが出現しますが、この時のインパクトが強すぎて食指を動かすことが無かった。 8/10には地元の鹿島灘で台風の影響により海岸に漂着したコアホウドリ（翌日・死亡）は外洋にいて台風の風により海面にたたきつけられることが原因らしい。 繁殖調査では6月から7月にかけてゴイサギ、ヒクイナ、カワセミ、ホオジロなどの親子連れや、何らかの理由から繁殖地に帰れなかったキンクロハジロが目立ちました。



タマシギ



ヒクイナ



コアホウドリ

●「イヌワシを堪能！ 伊吹山探鳥ツアー」・・・宮原 明幸さん（佐賀市）

7月17日～19日、滋賀・岐阜県境の伊吹山へイヌワシと高山のお花畑を見に行ってきました。

【参加者】青柳隆、青柳良子、川原直嗣、中島由美子、
加藤芳隆、丹羽昭一、橋本泰博、馬場清、宮原明幸、
八木ひとみ

（※写真提供：橋本泰博さん、丹羽昭一さん、八木ひとみさん）



7月15日、（野鳥の会ライン）に加藤さんより『台風が〜』とのメール??? 台風12号が小笠原沖で発生、予報円は18日関東へ上陸の後、琵琶湖方面に直角に曲がっています！ 17日（金）6時新鳥栖駅集合、新幹線を乗り継いで向かいます。 9時に新大阪



駅着、ここからは在来線で米原（まいばら）へ。 11 時米原到着、ここで川原さんと合流しレンタカーを走らせ伊吹山へ。 伊吹山山頂へは『伊吹山ドライブウェイ（有料）』を走ります。 山頂まで約30分。途中、待避所に車を停め見渡します。谷よりは爽やかな風がウグイスの囀りと一緒に吹き上がって来ます。 遠くにホトトギスも聞こえます。 斜面には赤茶の点、ニホンシカが群れています。 山頂付近のスカイテラスに目をやれば、駐車場下の崖っ縁に日傘やら大きなレンズが見えます。

道端へ、大阪や岡山方面からお見えのバーダーがカメラを据えイヌワシを狙われています。 『イヌワシ出ましたか？』『朝から未だ出て無い』 私達も此処で一緒に待ちましょう。 台風12号は進路を近畿へ変えた模様、今日と明日の午前中が勝負です。

先のバーダー『この谷の下から上がって来る』と昔写した画像を自慢げに見せられます。 『ちょっと来て、見られるものじゃ無い』とも言われています。

やはり、ちょっと来て見られるものじゃないのか？ 4時間待ちますが出ません。 丹羽さん、八木さんは周りのお花の探索。 残りは、ひたすら山と睨めっこ。 大阪のバーダーが帰り、先のバーダーも帰られ私達だけに。

宿にチェックインの時間確認を入れましょう 『他は皆キャンセルで一組だけになりましたから何時でも良いですよ、帰る時に電話を入れてください』とのこと、台風の影響でしょうか？ 今日、駄目でした、宿へ連絡を入れ降りることに。

少し下った場所の大きなレンズを構えたバーダー2人が雑談中。未練がましく情報収集。 『どんなです？イヌワシ出ましたか？』『イヌワシなら、其処に止まっているよ』と軽いご返事 『えっ！？』『ほら、其処の岩の処』 居ました、大きな石の重なり合った岩山の中程です。 ちょっと遠いですが双眼鏡なら充分確認出来る距離。

宿へ連絡。 『済みません、イヌワシが出ちゃいました♪遅くなりまあ～す。』 イヌワシは連れ合いが来たら一緒に埒に帰るとのご説明、待ちましょう。 連れ合いも来ないのに飛び去りました。

諦めていたイヌワシ遠かったけど見られて皆ご機嫌、宿へ向かいます。 『崖下にシカがいっぱい居る』と声があがります。 避難所に車を寄せてチョット覗いて見ましょう。 30頭以上のシカが群れています。 『斜面の草原にイヌワシが居る！』馬場さんが見付けられます。 近い！ 道より少し下った斜面の草叢、先程飛んだイヌワシでしょう？ 橋本さんはカメラを抱え、もう其方へ向かわれています。 車を廻し私達も裸眼でも充分観察出来る距離まで近づきます。尾根筋沿いに飛び去り、姿が見えなくなるまでたっぴり観察出来ました。 『後ろ姿じゃなく、前から飛ぶのが写したかった』と橋本さん” 尽きない欲望”。

宿は「ペンションいぶき」 ディナーはフレンチフルコース、ビールとワインで『イヌワシに乾杯！』 美味しい料理に美味しいお酒でした♪ 台風は、気配もありません。

18日（土）青空です。

「ペンションいぶき」の朝食を8時に予約し5時半より『山本山』（海苔のCMじゃありません、琵琶湖に近い山城の有った小山の名前）へ向かいます。

『山本山横の水路でカヌムリカイツブリの子連れが見られる』と伊吹山でお会いしたバーダーよりの情報です。 『半月前に、橋の上から背中に雛鳥を乗せた母鳥が写せた。子育

てに失敗したら何度もやり直しているから見られるかも?』との話でした。

山本山の脇を流れる小川の橋を下流に向け風漬しに確認します。

『キリキリリリ・・・♪』カイツブリがやたらと多い川です。川沿いの畠ではキジの番い、

葭原ではオオヨシキリが行き交い、イソシギも飛びます。子連れのカルガモも泳いで行きます。見付けました。一番下流の橋元で、カンムリカイツブリ夏羽が1羽だけ、雛の姿も連れ合いも見当たりません。防風林の向こうに琵琶湖が見えています。堤防を下り琵琶湖湖畔へ。カンムリカイツブリが何羽も浮いています。幼鳥連れの親鳥、造巢中の番い、繁殖行動でしょうか？



追っ掛けっこをする2羽・・・『こちらにいっぱい居ますよー』皆さんにお知らせします。

カンムリカイツブリ

そこで事故が、起きました。中島さん、堤防を下りた処で草に足を取られての転倒、石畳に腕と頭を打ち付け倒れたまま。すわー大事！最寄りの救急病院へ搬送、頭はたんこぶが出来ていますが大事なし、腕は・・・折れていました。

中島さん、今日は大事を取ってペンションで休んでいてもらおうと皆で決め、申し入れましたが却下、痛々しいお姿で続投です。

今日の朝食後の予定は、伊吹山のお花畑散策。

スカイテラスに到着後、山頂までの道で高山の花々を観ます。入口のシカ避けの網を潜り散策道へ、高山の植物が今が盛りと花咲いています。丹羽さん・八木さんは草花のスペシャリスト、橋本さんは蝶、青柳さんはショッピングコーナーで購入された図鑑を持っての花博士。『このピンクの花がシモツケソウ、こちらはクマガイソウ、ルリトラノオはこちら、この黄色いのはメタカラコウ、 、 、コオニユリ、このホタルブクロは、 、 、』教えて頂きますが、聞く端から抜けて行きます。



(上段左から)

クガイソウ

イブキフウロ

エゾフウロ

(下段左から)

ルリトラノオ

キバナノレンリソウ

キオン



目の前の森ではホトトギスが盛んに鳴いています。時々ガスが流れますが好い天気。ウグイスがシカ避けフェンスの上で囀り、ホオジロもチョロチョロ、アサギマダラもひらひら。中島さん、『ここで下ります』上まで歩く自信がないと途中リタイア。お昼を、山頂駐車場のスカイテラスで済ませます。

「鮎ずし」がありました。話には聞いていますが初めて口にします、臭くは有りません！味は中身のご飯が発酵し酸っぱい！好き嫌いがはっきり分かれるとか？私は嫌いです。「蕎麦は伊吹が発祥の地！」と謳ってあります。かき揚げ蕎麦を注文、不味い！お昼は、恵まれませんでした。加藤さん、山の花見はパスレイヌワシの見張りをしてもらっています。昼食後合流、加藤さんへは連絡入れたのですが圏外で通じません。可愛想にお昼抜きイヌワシも来なかったそうです。

暫く粘りますが駄目です、雲行きも怪しくなり出し、移動します。昨日の岩山まで来ました、のぞいて見ましょう『カモシカっ！』日本カモシカの灰色の姿、バタバタと車を下り望遠鏡を合わせます・・・居ません、見間違いだったのかな？谷にはシカが群れツバメがしきりに舞っています。『確かに見たんですがネ？岩だったのかな？』言い訳がましく『居ますっ！岩の上、ほらっ！』岩山に立っていました。突然、目の前をイヌワシが通過します。もう大騒ぎ、カモシカも見たい空からは目が離せない『クマが居る、ほらっシカの群れの上っ！』岩のごろごろした山肌を、真っ黒いツキノワグマがゆっくり登って行き森に消えます。

今回「山のクマさん」こと加藤さん、『本物のクマさんに会えるならば』と参加です。『あれは、なに？なに？トビ？カラス？』橋本さんの指差す空に2羽、ちょっと見トビですが『イヌワシだ！』私達の方へぐんぐん近づいて来ます。

台風の後波で、強い風が吹いています。風に向かい羽ばたきもせず凧のように空中に長く静止、足の鋭い爪まで肉眼で見える距離、雌雄番いで並んで浮いていますカシャ・カシャ・カシャ・カシャ・カシャ、シャッターの連写音が響きます。1羽は昨日と同じ岩場へ、もう1羽はその先の岩に止まり、やがて岩場の個体も近くに寄り添います。右が大きいから雌だよ？猛禽は雌が大きいから！

みんな、わいわい興奮しています。イヌワシの後ろから牡シカが、首を伸ばしお尻の白斑を大きく広げ”おっかなびっくり”近づいて行きます、飛びましたあ〜。

あっと言う間に時間が過ぎ、山を降ります。今晚も、美味しいフレンチと美味しいお酒で『クマとカモシカ、2羽のイヌワシに乾杯！』



ツキノワグマ



カモシカ



イヌワシつがい

テレビニュースは、どこも台風 12 号！ 予測進路は直撃です。最大瞬間風速は 35m？ 大した事はありません。九州と違い、めったに台風の上陸とか無いのでしょうか？ 大騒ぎです。明日は、流石に山は無理でしょうから起きてから予定を立てると決め、床に着きます。夜中少し雨音がしていましたが、さほど荒れもせず？朝を迎えました。

時折ザーッと、雨が来ますが青空も覗いています。

8時に朝食を済ませチェックアウト、早めに新大阪へ出ることに決め動きます。

この時期『醒ヶ井（サメガイ）の梅花藻（バイカモ）の花が盛り』と八木さんより話が出ていた地藏川へ。ナビのお蔭で迷えず着きます。

小雨の落ちる中で盛りの水中花を観察。「ハリヨ」も生息とありましたが探せません。

次は、馬場さんより関ヶ原の古戦場跡とのリクエスト、到着後トイレを借り甲冑姿のボランティアの方を囲んで記念撮影、終わり。まったく、鳥以外興味の無い集団です。

ここで伊吹山探鳥行は幕。JR線、台風の影響で遅れていましたが、早めに動いたのが功を奏し、乗り損ないも無く新鳥栖 18 時 10 分、帰り着きました。

楽しい旅でした。中島さんは楽しくなかったかも？

【観察出来た鳥】キジ、カルガモ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、キジバト、カワウ、ゴイサギ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、オオバン、ホトトギス、カッコウ、イソシギ、トビ、イヌワシ、コゲラ、アオゲラ、チョウゲンボウ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒバリ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、オオヨシキリ、ムクドリ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、カワラヒワ、イカル、ホオジロ、ガビチョウ

【観察出来た花】イブキジャコウソウ、イブキトラノオ、イワアカバナ、ウツボグサ、オオバギボウシ、カワラナデシコ、キオン、キバナカワラマツバ、キリンソウ、キンバイソウ、クガイソウ、クサフジ、オトギリソウ、クルマバナ、コオニユリ、シシウド、シモツケソウ、シュロソウ、ハクサンフウロ、ヒメフウロ、ミヤマアザミ、メタカラコウ、ヤマホタルブクロ、ヨツバヒヨドリ、ルリトラノオ



お花畑を舞う蝶たち
（左上から時計回りに）
スジグロシロチョウ、ジャ
ノメチョウ、アサギマダラ、
ウラギンスジヒョウモン、
ヒメキマダラヒカゲ

●「志田焼に描かれた鳥たち 第2回」・・・馬場 清さん（嬉野市）

我が町、嬉野市塩田町の古い陶磁器「志田焼」を紹介します。

「志田焼」は塩田町久間地区で江戸時代後半・幕末期に鍋島本藩領の東山区、支藩蓮池藩領の西山区で染付の大皿（絵文様）等が膨大な数量で生産されました。昭和の中頃まで焼かれておりました。

当時の生産した工場跡が保存されており、見学&絵付け体験ができます。

・塩田町久間西山、「志田焼の里博物館」（0954-66-4640）

ここで紹介している焼き物の見学は、塩田町「嬉野市歴史民俗博物館」（0954-66-9130）

で、事前に電話にて問い合わせて下さい。また、江戸時代後期から明治期繁栄した「重要伝統的建築物保存地区」の「塩田津の町並み」も見学に来て下さい。私がお案内します。



そめつけやなぎにさぎもんざら
染付柳に鷺文皿



そめつけひょうれつさんまるすずめもんざら
染付氷裂三丸雀文皿



そめつけあしにおしどりもんざら
染付芦に鴛鴦文皿



そめつけうすらもんりんかざら
染付鶉文輪花皿



そめつけおもだかにさぎもんざら
染付沢潟に鷺文皿



そめつけまつたかもんざら
染付松鷹文皿

（資料提供：嬉野市歴史民俗資料館 写真撮影：馬場清さん）





最近の新聞・

情報誌の記事から

(2018年8月2日付け：読売新聞)
 野鳥の会県支部との友好団体の「黒髪山を守る会」よりクロカミラン盗掘の新聞記事が配信されました。
 支部会員の皆様へのお知らせ願います。
 (情報提供：馬場清さん)



希少ラン盗掘捜査

佐賀・黒髪山 ネットで販売か

県条例違反容疑



佐賀県武雄市と有田町にまたがる黒髪山(516㍓)で、国の絶滅危惧種に分類されているランの一種「クロカミラン」の盗掘が相次いでいることがわかった。愛好家によると、インターネット上で1株数万円で取引されることもあるという、県警武雄署は販売目的の盗掘の疑いがあるとみて、県環境保全条例違反容疑で捜査を始めた。

クロカミランは、黒髪山に固有な多年草でウチヨウランの変種。高さ5〜20㍓、葉の長さ2〜15㍓。毎年5〜6月はじめに小さな紫色の花を咲かせる。環境省のレッドリストで、ごく近い将来に絶滅の危険性が極めて高い「絶滅危惧ⅠA類」に指定されている。20年以上にわたり保護活



動に取り組み「伊万里黒髪蘭保存会」(桑本俊策会長)によると、盗掘されたのは、中腹の岩場付近。一帯には例年、保存会が育てて植えた30〜40株が咲いていたが、昨年6月に株が根こそぎ掘られ、大半がなくなっているのがわかった。今年6月に同署員と確認したところ、1株しか残っていないかかったという。同署は、目撃者を捜すとともに、入山者が持ち帰っていないか調べている。

保存会によると、「山野草ブーム」もあり、10年以上前から盗掘の被害はあったが、近年はスコップなどで露骨に掘り返し、根こそぎ持ち帰る悪質なケースが目立つ。クロカミランは希少価値が高く、愛好家の間で人気があり、高価なものも1株数万円で取引されていることが背景にあるとみられるという。

黒髪山では、保存会が植えた場所以外で、人が立ち入れない場所にクロカミランが自生している。県はクロカミランを希少野生動物種に指定。県条例は、クロカミランを無断で採取した場合、1年以下の懲役または50万円以下の罰金を科している。

希少植物の盗掘被害は全国で相次いでいる。岩手県や北海道に自生し、「絶滅危惧ⅠB類」(近い将来に絶滅の危険性が高い)に指定されているトチナイソウは、盗掘などで数が減少。同じくⅠB類に指定され、大分、熊本県などに自生するヒメユリの被害も出ている。

環境省希少種保全推進室によると、2007年にまとめたレッドリストの絶滅危惧種1690種のうち、2割を超える380種は、盗掘を含む「採取」が減少の一因だという。各自治体は、懲役や罰金を科す保護条例を制定して警戒を強めている。熊

希少種被害 全国で

同会は、今後も山に植える方針だが、桑本会長は育てるには手間と時間がかかると、世界的に貴重な花なので、盗掘は絶対しないほしい」と話している。

本県では14年8月、「絶滅危惧Ⅱ類」(絶滅の危険が増大している)に指定されているオケラセンノウを採取したとして、県警が「野生動物植物の多様性の保全に関する条例」違反容疑で、男女を書類送検した。

希少植物の盗掘に詳しい中央大の鷲谷いづみ教授(保全生態学)は「ランは自生する地域が限られて希少価値が高く、花の形も多様なので、園芸価値が高い。そのため盗掘被害に遭いやすい」と指摘。その上で「地域の理解が高まれば、監視の目が広がり、盗掘は減少する」と話している。





近隣地区の観察会情報

日本野鳥の会本部HPにも最新の探鳥会情報
がありますよ！ → <http://www.wbsj.org/>

■日本野鳥の会 福岡支部 (参加費：会員 100 円 一般 300 円 中学生以下無料)

日時：10月7日(日)、11月4日(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・今津、雨天中止 / 集合：玄洋高校北西の端道路

日時：10月2日(火)、11月6日(火) 10:00~ (定例探鳥会) **集合時間にご注意を！**

場所：春日市・春日公園、雨天中止 / 集合：10:00 旧公園管理センター前 (第5駐車場横)

日時：10月13日(土)、11月10日(土) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・大濠公園、雨天中止 / 集合：9:00 公園ボート乗り場前

日時：10月14日(日)、11月11日(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・和白海岸、雨天中止 / 集合：9:00 JR 和白駅前の和白公園

日時：10月21日(日)、11月18日(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：筑紫野市・天拝山、雨天中止 / 集合：天拝山歴史自然公園水上ステージ横

日時：10月28日(日)、11月25日(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：福津市・久末ダム、雨天中止 / 集合：久末ダムの多目的広場横の駐車場

■日本野鳥の会 筑後支部 (参加費：会員 100 円 一般 200 円 高校生 100 円 中学生以下無料)

日時：10月7日(日) 9:00~ (定例探鳥会)

場所：小郡市・花立山 / 集合：9:00 小郡市干潟の城山公園駐車場

担当：森池勝利さん 携帯：090-1873-6007

日時：10月14日(日) 9:00~ (定例探鳥会)

場所：高良山(久留米市) / 集合：9:00 久留米市御井町・高良下宮社

担当：溝田泰博さん 携帯：090-4357-3043

日時：10月21日(日) 9:00 溪流の鳥・星野川(企画探鳥会)

場所：八女市星野村 / 集合：9:00 八女市星野村の池の山公園駐車場

担当：松富士将和さん TEL：090-7159-3933

日時：6月24日(日) 9:00~ (定例探鳥会)

場所：大牟田市・黒崎公園 / 集合：9:00 黒崎公園第1公園グラウンド

担当：野田達行さん TEL：090-7446-9047

伊吹山の自然

(撮影：橋本泰博さん、丹羽昭一さん、八木ひとみさん)



ハンノアオカミキリ



コキマダラセセリ



ヤマホタルブクロ



イブキジャコウソウ

~野鳥さが原稿募集中~

①詩歌・句・イラスト募集！ 皆様の作品をお待ちしています。気軽にご参加ください。

②投稿・ご意見などをお寄せください。(編集部：馬場順一)

〒841-0053 鳥栖市布津原町 61 A12-11 携帯：090-5084-2649

(Eメール) f_baba841@ybb.ne.jp





観察会会場までの案内

交通手段が無い場合は、担当者までご連絡を！

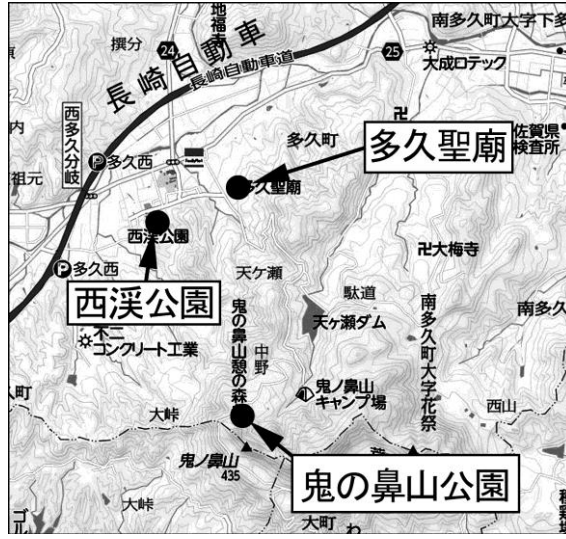
①10/13~14 ④11/25 佐賀市・森林公園



②11月11日 佐賀市・東よか干潟



③11月18日 多久市・鬼の鼻山公園





観察会などのご案内 (2018年10月～11月)

① 10月13日(土)～14日(日) 2018 さが環境フェスティバル in 森林公園(佐賀市)

[時間&場所] 両日とも10:00～16:00
佐賀市久保田町の県立森林公園内
[担当] 青柳 良子さん(小城市) 090-1659-7353
※スタッフ募集中! 詳しくは5ページの案内をご覧ください。

② 11月11日(日) 東よか干潟(大授搦)観察会(佐賀市)

[時間&場所] 10:00
佐賀市東与賀町の東よか干潟展望台
[担当] 田中丸 雅雄さん(佐賀市)080-1707-9225
加藤 芳隆さん(上峰町) 090-4510-1560
[見どころ] 主役はシギ・チドリたちからカモ・カメ類
&クロツラヘラサギに。

③ 11月18日(日) 鬼の鼻山公園観察会(多久市)

[時間&場所] 9:00
多久市の鬼の鼻山公園駐車場
[担当] 宮原 明幸さん(佐賀市) 090-2507-7085
[見どころ] 展望台のある山頂までは歩いて15分
程度、360°の展望が待っているそうです。
ウォーキング&低山の鳥たちを楽しみましょう。

④ 11月25日(日) 森林公園観察会(佐賀市)

[時間&場所] 09:00
佐賀市久保田町 県立森林公園・北側駐車場
[担当] 島田 洋さん(佐賀市) 090-2393-1286
[見どころ] かつての森林公園とはすっかり変わって
しまいましたが、ここは支部の原点です。



共通事項

- ① 資料代、保険代として100円頂戴しています。
- ② 雨天中止。(前夜18:55のNHK天気予報で降水確率50%以上の場合、原則として中止)
- ③ 集合に遅れる時は早めに担当者に連絡し、会場に不慣れな場合は、必要な指示を受けて下さい。
- ④ 帽子、雨具、水筒などは適宜ご持参ください。
- ⑤ 場所や交通手段、便乗の可否などのお問合せは各担当か事務局まで。

「野鳥さが」 ～日本野鳥の会佐賀県支部 会報～
公益財団法人 日本野鳥の会 〒141-0031 東京都品川区西五反田3-9-23 丸和ビル
電話 03-5436-2620(代) FAX 03-5436-2636
日本野鳥の会佐賀県支部 支部長：宮原明幸
事務局：中村さやか (☎ 0954-60-4424 携帯：080-4932-5740)
〒849-1315 鹿島市三河内2974-1
郵便振替 01710-8-82339 「日本野鳥の会佐賀県支部」